

本部中学校へ「看護体験」の出張講座に行ってきました！

昨年同様に、本部中学校より「看護体験」の依頼がありました。看護学科として、お役に立てるのであればと、平成21年6月3日（水）に本部中学へ「看護体験」の出張講座へ行ってきました。この「看護体験」の目的は、【看護体験を通して、福祉に関する意識の高揚を図ると同時に、老人や障害を持つ方々への理解を深め、これからの自分の生き方に役立てる】であり、対象は中学3年生、89名でした。

看護学科の教育理念は、参画型看護教育です。さっそく、学生にボランティアの募集をしたところ、「本部の出身だから、ぜひ行きたい」と3年生12名が名乗りをあげてくれました。教員6名の合計18名で、①高齢者体験 ②AED体験 ③赤ちゃん抱っこ体験 ④手洗い体験 ⑤車椅子体験 ⑥血圧測定体験の6つのコーナーを設け、体験して頂きました。手洗い体験では、新型インフルエンザ意の予防目的もあり、リアルタイムでの体験であったと思います。何度洗っても、指間部が上手く洗えない生徒もいましたが、手洗いの重要性を認識したようでした。また、高齢者体験、車椅子体験では、高齢者の歩くペースや見えにくさなどを実感し、今後の高齢者への対応を考えたようでした。血圧測定では、血圧の音がなかなか聞こえない生徒に対して、看護学科の学生も聞こえるまでしっかりと指導していて、頼もしく感じました。みなさん、楽しく体験できたのではないのでしょうか？

終了後は、めったに入ることのできない、校長室でおいしいお菓子とパッションフルーツジュースをいただきながら、教頭先生をはじめ担当の先生方と「看護体験」の振り返りなど楽しくゆんたくしました。

体験した本部中学校の生徒の中から、将来看護職を目指す生徒がでて、名桜大学看護学科へ入学してくれたらな～と考えながら、出張講座を終了しました。



AED体験中。真剣です！



血圧測定体験中。上手く測定できたかな？